



長等小学校 創立150周年 ふわふわ言葉大集合

2月11日、長等小学校は150周年を迎えます。
「一人ひとりが自分の言葉に責任をもち、温かい言葉かけを意識することで、笑顔が溢れる学校にしていくこと」をねらいとし、児童会JRC委員会が「150周年ふわふわ言葉大集合」の取組を行いました。

子どもたち一人ひとりが、ハートの紙にふわふわ言葉（言われて心が温かくなる言葉）を書き、昇降口に掲示しています。

また、「創立150周年クラスの寄せ書き」として、学年のテーマ（長等の自慢、未来に残したいこと、誓いの言葉など）に沿った言葉を書きました。寄せ書きは、体育館に掲示します。



2月11日（土）

◆1校時 8:45～ 9:45 記念式典（体育館）

6年生は体育館で式典に参加し、1～5年生は教室で、TV放送で式典の様子を見ます。
式典の主な内容は、地域の方による「長等小学校これまでの歩み」の紹介、各学年代表児童の言葉、タイムカプセルセレモニー、6年生による創立150周年記念の歌の披露等です。

◆2校時 10:00～10:45 学習参観 *さくらは交流学級で学習予定

4年生	総合的な学習の時間 「だれもがくらしやすい長等の町を目指して」 町探検をもとに、よかったところや改善策について考える。	各教室
5年生	総合的な学習の時間 「長等プロジェクト」 長等の町をより魅力ある町にするためにどうすればよいか、 自分たちの考えを発表する。	体育館
6年生	総合的な学習の時間 「未来に向かって」 ゲストティーチャーの話聞き、自分の将来について考える。	各教室

◆3校時 11:00～11:45 学習参観 *さくらは交流学級で学習予定

1年生	生活科 「昔遊び」 ゲストティーチャーとともに、昔遊びをする。	体育館
2年生	生活科 「こんなに大きくなったよ」 自分のこれまでの成長に関わってくれた人々に感謝する。	各教室
3年生	社会科 「昔の道具体験」 ゲストティーチャーから昔の道具の話聞き、昔の生活について考える。	各教室

◆午後 13:00～15:00 PTA主催のイベント（体育館）

こころのきずな 優しさ包まれて

創立以来、子どもたちはお家の方や地域の方に大切にされ、見守られてきました。登下校時には、オレンジ色のベストを着た地域の方が校区の交差点等に立ち、子どもたちを温かく見守ってくださっています。

「夢があふれるまち大津」を目指して行われている事業『大津こころのきずな作文』に、本校5年生の児童2名が入賞しました。地域の方とのふれあいをテーマにした作品です。入賞作文を紹介します。

あいさつから始まったきずな

以前、最近では地いきやご近所さん同士のつながりが少なくなっている、ニュースになっているのを見た。

5年前、ぼくが小学校に入学して初めての登校日の日、知らない道、知らない人に心ぞうがドキドキしていた。その時、「おはよう。いってらっしゃい」とおばちゃんの声がした。知らない人だったのでびっくりしたけど、ちょっぴりきんちょうが解け、ホッと安心したのを覚えている。その日から毎日おばちゃんと「行ってらっしゃい」「行ってきます」「おかえり」「ただいま」とあいさつを交わしている。今では、習い事や学校の話もするようになり、今日はおばちゃんいるかな？と会えるのが楽しみになった。

あいさつから始まった地いきとのつながり、おばちゃんとのきずなを大切にしていきたいと思う。



「夢があふれるまち大津」につながる思いやり

「ゴミは何時に取りにくるんや」と近所に住むおばあちゃんがぼくたちにたずねてきた。今日はゴミの日じゃないのになと思った。けれどおばあちゃんは耳が悪いのか何度も聞き返してくる。おばあちゃんはゴミを出す日をまちがえているようだ。ぼくは弟と協力して、おばあちゃんが持ってきた大きなゴミぶくろを家まで運んであげることにした。おばあちゃんの家はぼくの家からそんなに遠くない。けれど、運んでいる間は時間が長く感じた。家に着くと、おばあちゃんの家族に「ありがとう。すごく助かったよ。」と言っておばあちゃんが作ったとうもろこしをもらった。

帰ってから、もらったとうもろこしを食べながら思った。いつもよりおいしくて、ぼくもだれかの役に立てただって、うれしかった。これから、こまっている人がいたら耳をかたむけて、みんながおたがい助け合って、思いやりがあふれるそんなまちにしていきたいと思う。

